

素顔のご入居者 第五十一回

手に入れたセカンドステージ、

今が最高に幸せ

杉浦 治世様(67)

いつも笑顔で明るい杉浦様。ポランティア活動と趣味のスポーツを通じて知り合ったお友達に囲まれ、はつらつとした素敵なお入居者です。

【早く自立したい】



▲今日の予定はヨガ教室

私は帽子屋を営む両親のもとに2人姉妹の妹として生まれました。父が早くに亡くなり、母は私達姉妹を苦労して育ててくれました。母ひとりで家族を養う事は大変で、幼い頃より「早く自立したい」という気持ちが芽生えたような気がします。私の名は父が医学の道に進んでほしいという思いで「治世」と付けてくれました。その名の通り薬剤師

を目指していましたが、高校三年の冬に経済的な理由で希望の大学への進学を諦めました。卒業と同時に通っていた高校の実験助手として働き始めましたが大学への夢が捨てられず、仕事を終えてから夜間大学に通い、卒業することが出来ました。薬剤師にはなれませんでした。高校職員として定年まで勤めあげた仕事人生は、充実し満足いくものでした。

【船乗りの夫と電撃結婚】

夫とは幼馴染みの紹介で知り合いました。世界の海を渡る海洋航海士でした。私達は出会って2ヶ月で結婚しました。夫からの結婚指輪はペルーで買ったものでした。夫は結婚を機に船を降り、港での勤務に代わりました。

【お母さんは逃げないよ】

子供は娘ひとりと息子がふた

り。長男は夫譲りの立派な体格で、子供の頃からバスケットボールの花形選手。賢く明るく、みんなの人気者でした。一変したのは15歳の春。高校受験の壁は息子に人生初の大きなつまずきを与えました。行き場のない息子の感情は家庭内暴力という形で噴出しました。息子が苦しむ荒れる姿は、言葉では到底表せるものではありませんでした。私は自分の倍もあるような大きな息子からの暴言と暴力で痣は日常的、時には流血さえも。なんで？どうして？あんないい子が？光を求めてありとあらゆる方面を調べました。そんな中で、ある疾患に確信を持ちました。「統合失調症」。

19歳の時、嫌がる息子を無理やり入院させました。入院は息子に大勢の人との関わりを与え、それが立ち直りのきっかけになりました。息子自身の「このままでは終わりたくない」という強い気持ちがある自分の疾患と向き合わせ、少しずつ明るい光に向かって進み始めました。退院後、14回の転職を経て、自分に合った職

【今の私は本当に幸せ】

子供達もそれぞれ落ち着き、今度は自分自身のために次の幕を上げたいと強く感じた私は、ゆうゆうの里に入居を決めました。今はまだ気力も体力も充分ありません。やりたいことは何でも挑戦！をモットーに、この新しい地で新しい仲間と出会い、毎日が楽しくて仕方がありません。私は何もいらな思っています。子供たちには私が持っている全てを分け与えてあげたい。そして彼らに面倒をかけないよう、長く健康でいたいと思っています。今、心から幸せを感じています。



▲右から2番目。ポーズもバッチリ。このあと仲間とランチです。